

## ▶▶▶ 特別会計

町の特別会計は全部で8つで、それぞれの決算は次のとおり。  
この特別会計っていうのは、一般会計とは別に設けられている会計のことで、それぞれの会計が独自で収入・支出を経理する会計なんだ。



会計	内容	歳入	歳出	差引額
診療所事業	東部診療所と丹生診療所を運営するための会計	1億6,371万円	1億6,351万円	20万円
国民健康保険事業	自営業の方や退職者等の医療費等を給付する会計	13億67万円	12億5,034万円	5,033万円
老人医療事業	平成19年度に終了した老人医療事業の精算をするための会計	1,874万円	1,440万円	434万円
後期高齢者医療事業	75歳以上の高齢者等の保険料を収納・納付するための会計	1億1,208万円	1億1,203万円	5万円
介護保険事業	介護保険の給付や高齢者の生活支援等を行う会計	9億8,103万円	9億2,425万円	5,678万円
簡易水道事業	簡易水道施設の整備・管理を行う会計	1億6,534万円	1億5,615万円	919万円
集落排水処理事業	集落排水処理施設の整備・管理を行う会計	1億9,748万円	1億9,732万円	16万円
公共下水道事業	公共下水道施設の整備・管理を行う会計	6億5,789万円	6億5,763万円	26万円

## ▶▶▶ 企業会計

### ■ 上水道事業



自治体によっては、法律で設置しないとイケない企業会計。  
美浜町は、地方公営企業法っていう法律の「水道の給水人口が5,000人を超える自治体」に該当するから、上水道会計を設けているよ。

収益的収支(水道料等での収支)	
水道事業収益	1億4,105万円
水道事業費用	1億3,112万円
差引額	993万円
資本的収支(施設建設等の収支)	
資本的収入	1億4,825万円
資本的支出	1億7,958万円
差引額	-3,133万円

※施設建設等で不足した3,133万円は、将来、施設改修のために保有しているお金で補てんしました。

## ☆ 平成21年度の主な事業 ☆

- **美浜中学校改築事業(事業費:16億7,445万円)**  
美浜中学校一期工事(校舎、体育館の建築等)及び二期工事(グラウンドやテニスコートの整備、屋外体育倉庫の建築等)を行いました。
- **耐震補強工事事業(事業費:9,532万円)**  
丹生小学校校舎の耐震補強工事を行いました。
- **子ども医療費助成事業(事業費:2,387万円)**  
医療費助成対象者の年齢要件を、就学前から中学校修了までに拡充しました。



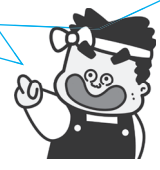
↑今年3月に補強工事が終わった丹生小学校校舎

■ 美浜町における指標の対象範囲 ■

一般会計等	一般会計	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費率	将来負担比率
	診療所事業特別会計				
公営事業会計	国民健康保険事業特別会計	資金不足比率			
	介護保険事業特別会計				
	後期高齢者医療事業特別会計				
	老人医療事業特別会計				
公営企業会計	上水道事業会計				
	簡易水道事業特別会計				
	集落排水処理事業特別会計				
	公共下水道事業特別会計				
一部事務組合・広域連合 (美浜・三方環境衛生組合, 敦賀美方消防組合, 公立小浜病院組合, 市町総合事務組合, 嶺南広域行政組合, 福井県自治会館組合, 福井県後期高齢者医療広域連合)					
地方公社・第3セクター等 ※美浜町では該当ありません。					

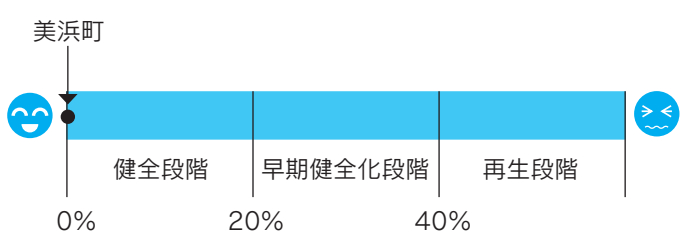
## 財政健全化法

全国の自治体に衝撃を与えた北海道夕張市の財政破綻は、記憶に新しいよね。  
 国は、この前例のない自治体の破綻によって、これまでの財政再建法制を見直して、新しい制度として「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」っていうのを定めたんだ。  
 この法律は、新しい財政指標で「早期健全化」と「財政再生」の2段階で自治体の財政悪化をチェックして、自治体の財政状況を明らかにするんだ。平成20年度の決算から、この指標のいずれかが基準を上回った自治体には、財政の健全化に向けた計画の策定等、さまざまな制約が課されることになるんだよ。  
 平成21年度決算の結果、美浜町は**どの指標も早期健全化基準を下回っているけど、今後も将来を見据えた財政の運営が必要なんだ！**



### 連結実質赤字比率

すべての会計の決算でプラスのため赤字なし



**す** すべての会計の赤字から財政運営の深刻度をみる比率です。

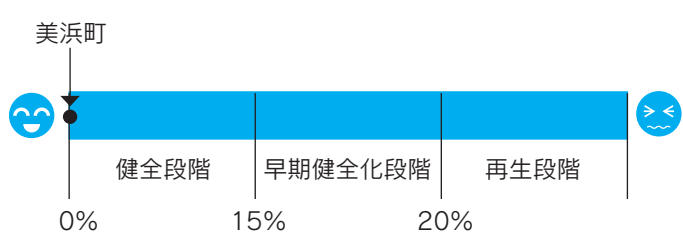
各会計決算の実質収支額の合計が赤字になる場合、標準財政規模に対する赤字額の割合を表したのが連結実質赤字比率です。

美浜町では、全会計の実質収支額の合計は6億3,826万円の黒字となるため、比率は表記されません。



### 実質赤字比率

一般会計等決算でプラスのため赤字なし



**一** 一般会計等の赤字から財政運営の深刻度をみる比率です。

一般会計等の収支(歳入-歳出)から、翌年度に繰り越すべき財源を差し引いた決算額(実質収支額)が赤字になる場合、標準財政規模(※)に対する赤字額の割合を表したのが実質赤字比率です。

美浜町では、平成21年度一般会計等決算の実質収支額は2億6,550万円の黒字となるため、比率は表記されません。

※標準財政規模

地方自治体の一般財源の標準的大きさを示す指標。なお、一般財源とは、使いみちを特定されずどのような経費にも使用することができる財源のことです。

## 美浜町の **借金** の話

### ■ 借金総額は113億8,640万円

平成21年度の町の借金(町債現在高)は、全会計合わせて113億8,640万円となっており、前年度と比較すると1億2,915万円の減少となりました。

なお、各会計の借金額については、次のとおりです。(記載のない事業については、借金はありません)

区分		町債現在高
一般会計		42億9,312万円
特別会計	診療所事業	3,165万円
	簡易水道事業	2億6,292万円
	集落排水処理事業	8億6,700万円
	公共下水道事業	52億5,379万円
上水道事業		6億7,792万円
合計		113億8,640万円

### ■ 借金は減少傾向

借金はここ3年間、わずかながらですが連続して減っています。

町では借金を減らすために、その年度に新たに借り入れる額が、返済する額を超えないようにしています。特に一般会計では、国の補助制度(電源立地地域対策交付金等)を活用するとともに、事業の優先度、緊急性及び事業効果を見極めた上で、事業を実施しています。

#### <過去5年の町債現在高>

年度	町債現在高	前年差
平成17年	115億9,998万円	+2億7,948万円
平成18年	116億9,951万円	+9,953万円
平成19年	116億9,833万円	-118万円
平成20年	115億1,555万円	-1億8,278万円
平成21年	113億8,640万円	-1億2,915万円

### ■ 今後の見通し

町で計画した事業や施設整備が完了したため、特別会計や上水道事業での借金は、今後減っていくと予想されます。

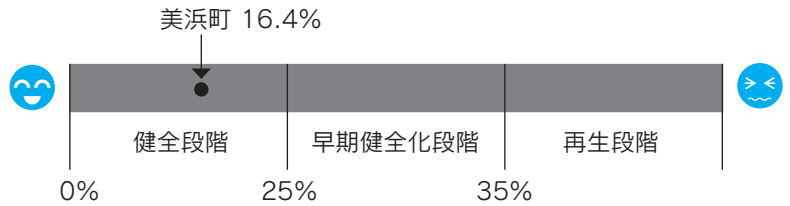
平成22年度についても、引き続き借金の額は減少する見込みです。

町では、現在、「第3次行財政改革大綱」に基づき、職員数の削減や不要な事業の廃止・統合に取り組んでいます。今後も行財政改革を一層進めることで、無駄な歳出を減らし健全な財政運営に努めていきます。



## 実質公債費比率

☑ 借金の返済負担は前年度から0.1ポイント減少



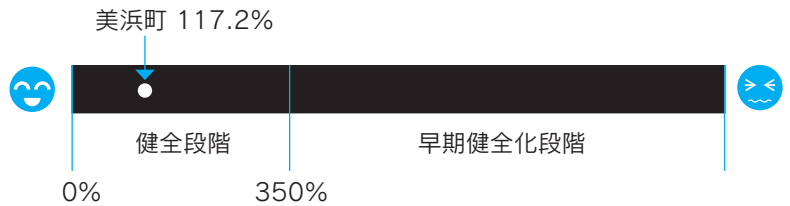
**借** 金の返済負担の重さを示す比率です。借金の返済額が増えてしまうと短期間で削減したり先送りすることは難しいため、計画的に借り入れを行うことが大切です。

美浜町は、前年度の16.5%から0.1ポイント減少しました。



## 将来負担比率

☑ 将来の財政への圧迫度は前年度より5.4ポイント減少



**町** が抱える負債の残高から将来財政への圧迫をみる比率で、標準財政規模に対する負債額の割合です。

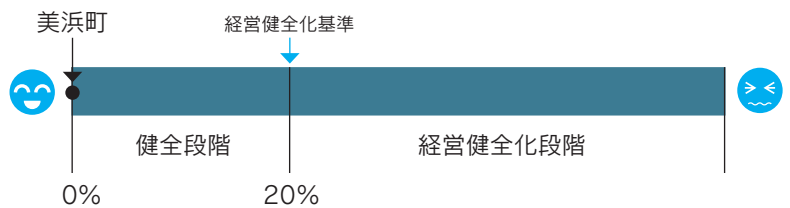
この比率が高ければ高いほど、将来負担が大きいということになり、今後の財政運営が圧迫される可能性があります。

美浜町は、前年度の122.6%から5.4ポイント減少しました。



## 資金不足比率

☑ いずれの会計も赤字なし



**公** 営企業会計の資金不足割合から経営状況の深刻度をみる比率です。各会計ごとに算定し、比率が高ければ高いほど経営状況が悪化していることとなります。

美浜町では、4つの会計ともに資金不足がないため、比率は表記されません。